

Rotary International District 2500

Governor's Monthly Letter

2023-2024

「今こそ変わる勇気を！
さあ、一歩前へ」

CONTENTS

ガバナーメッセージ	1
「ロータリーの友」月間に寄せて	3
ロータリー財団セミナーを終えて	4
米山奨学生「学生時代に感じたことについて」	6
公式訪問レポート	7
2026-2027年度 ガバナー候補者推薦の要請	14
ハイライトよねやま	15
コーディネーターNEWS	19
新入会員の紹介	25
ロータリー財団寄付者報告	26
米山功労者報告	26
例会出席率及び会員数推移	27



ガバナーメッセージ

2023-24年度

国際ロータリー第2500地区ガバナー

鶴見 誠一郎

(紋別港RC)

クラブ様に寄り添う公式訪問を心がけたい

今年度の地区スローガン「今こそ変わる勇気を！さあ、一歩前へ」。地区活動方針「行動すること意味がある」。これらは真剣に考え、私が決めさせて頂いたものです。地区内すべてのロータリアンの皆様に、ただ漠然とお示ししたものではありません。私自身に宛てたものでもあります。

諸先輩方への感謝の想いは、ロータリークラブを創立し発展させてくださいましたこと、今日までロータリークラブをお守りいただきましたこと。各クラブ会員様への感謝の想いは、私が今年度地区ガバナーとして務めさせていただきますこと、お手配・調整等を数多く行い公式訪問の場を設けるためにご準備いただきましたこと。これらを胸に、7月10日より公式訪問を始めさせていただきます。

なぜ今、変わる必要があるのか？今までの国際ロータリーや地区の運営を否定するような意味では全くありません。世界も経済も地域も大きく変わり、未来のために何かを変えるべき時を迎えていると考えています。

行動することに意味があるとは何か？人は新たな行動に移そうとする時、マイナスイメージから入る傾向にあるそうです。でも、やってみなければわかりません。最初からダメだと決めつけず、ポジティブに考え、慣例や慣行に捉われず、時には発想を転換し、自分を信じてまずは行動してみる。一歩前へ踏み出すのです。すぐには結果や成果はでないかもしれませんが、しかし、きっかけにはなります。何も変えず行動しないことは、ラクで、安心でき、居心地は良いでしょう。しかし、明るい未来を描くことはできません。

これらを各クラブ様にお伝えすることを念頭にしております公式訪問。私が強い信念のもと勇気をもってお願いし、皆様のご理解とご協力を得て、変えさせていただいたことがあります。クラブ協議会の前年度実施と対話を重視した意見交換会の導入です。第2500地区では公式訪問例会の際にクラブ協議会を実施することが慣例でした。しかし、日本全国34地区を見た時、ほとんどの地区はガバナー補佐予定者

の方の進行によりクラブ協議会を完了していると聞いています。いわゆる、これがスタンダード。では今回、他地区と足並みを揃えただけなのか？いえ、そうではありません。R I 会長エレクトも、地区ガバナーエレクトも、クラブ会長エレクトも、国際協議会や P E T S などを経てエレクト年度のうちに新年度を迎える準備を完了させています。では、なぜクラブ様だけが新年度に入ってから新年度の準備を完了させるのでしょうか？当地区の公式訪問は、おおよそ7月上旬から9月末です。訪問クラブ様によりましては最大で約2ヶ月半の差が生じ、7月1日の新年度開始日に地区内すべてのクラブ様が一斉にスタート切ることができません。気づけば上期が終わってしまうなんていう懸念もあります。

同時に、本件においてお詫びもご置きます。1月の国際協議終了後の私からのアナウンスによってクラブ様の当年度の例会プログラムを一部変更いただきましたこと。ご苦労をおかけ致しました。さらには、丁寧に説明させていただいたつもりでしたが、結果的にお伝えしきれれておりませんでした「活動計画を5月末頃までにご提出いただきたい」件、あくまでもクラブアッセンブリーをもとにクラブ様ならびに各委員会様が次年度に何をされるのか、どんな活動を予定されておられるのか。製本化の有無や書式は問わず情報だけで構いませんのでご提供くださいとのお願い。クラブ様によりましては前年度の決算内容その他を盛り込んでおられる場合もありますので、新年度を迎えなけれ

ば活動計画書はできないというのも十分理解してお話でしたが。説明不足でありましたこと、深くお詫び申し上げます。ただ、今回採用させていただきましたこの方式は次年度また元に戻るのか？いえ、そうではありません。次年度以降もこの方式を継続する予定です。コロコロと変わるものではございません。

意見交換会につきましては、私自身とても重要視しています。理解し合える大切な機会です。普段おうかがいすることのできない胸の内。立場上、本音と建前を気にすることも正直ありますが、非公式の場において腹を割った内容で話し、時には衝突しながらロータリーについて語り合う。素晴らしいことですね。今の時点で半数以上のクラブ様を訪問させていただいておりますが、意見交換会をさせていただいて良かったと心からそう思っています。

そして、なんといっても私が公式訪問でゼツタイに成し遂げたいこと、それは例会で説明させていただき資料をクラブ様ごと作り変えるというものです。私はR I 側の単なるメッセンジャーではなく、地区ガバナーとして、地区内のクラブ様の内容や状況に合ったお話しをしたい、そう決めています。もちろん全クラブ様共通の項目もありますが、R I 側の方針をお伝えしつつ、基本はクラブ様に合ったお話しを・・・と。クラブ様に寄り添う。皆様の前でお約束させていただいたことです。



「ロータリーの友」月間に寄せて

2023-2024ロータリーの友 地区代表委員 **佐藤 宗晴**
(紋別港RC)

「ロータリーの友」はRIの認証を受け、Rotary Global Networkの一員として発行されている雑誌です。この「友」はロータリアンがロータリーライフを深めるため、そしてクラブがRIとのつながりを実感するためにも必要な媒体です。

ロータリーの友委員会ならびにロータリーの友事務所では、2014年1月号から電子版を発行し、2022年7月号からは「印刷版」と「電子版」を選択して購読ができるようになりました。

基本的にロータリアンのための機関・情報誌です。横組みにはRIの指定記事、特別月間の関連記事や特集が掲載されております。横組みにはロータリアン個人としての意見や経験談、職業上の知見、さらに俳句や短歌の投稿などが掲載されています。会員歴の浅い方や、ロータリアン以外の方がお読みになってもロータリーの理念や活動がお分かりいただけるように編集されております。この「友」を介しての情報の受信だけでなく会員の情報の発信の場として、利用してみてください。

「友」では皆様のご投稿をお待ちしています。

次のような点に注意して、情報を発信してください。

- *クラブは地域社会のどのような問題や課題を解決しようとしていますか。（その問題や課題をどのようにして知ったか）
- *どんな行動を起こしましたか？行動を起こすにあたって会員の知識や経験が活動にどう生かされましたか？どのような課題に直面しましたか？
- *その活動によってどのような変化がもたらせられましたか？地域の人の意識をどのように変えることができましたか？



ロータリー財団セミナーを終えて

地区ロータリー財団委員会 成瀬 則之
(網走RC)



2023-2024年度国際ロータリー第2500地区ロータリー財団セミナーは、2023年7月23日(日)午後1時より紋別市のホテルオホツクパレスにて開催されました。

時系列に沿って報告を致します。

鶴見誠一郎ガバナー点鐘後、財団セミナー開催の意義、基調講演の講師の紹介に続き第1地域ロータリー財団地域コーディネーター 飯村眞一氏をご紹介して、財団セミナーはスタートしました。飯村RRFC(宇都宮90ロータリークラブ)は

- 1, マッキナリーRI会長の方針
- 2, ロータリー財団の使命
- 3, ロータリー財団の役割
- 4, ポリオ根絶へのチャレンジ
- 5, 寄付文化の醸成

の5項目に雄弁且つ端的に述べて頂きました。

ゴードンR、マッキナリーRI会長のRIテーマ

「世界に希望を生み出そう」

Create Hope in the World

希望とは好ましい事物の実現を望む事、即ち持続可能な良い変化。

従って希望=「持続可能な良い変化」への想いであり、「世界に希望を生み出そう」というテーマに結びついたことは必然だったと思われまます。私達は世界で地域社会でそして自分自身の中で持続可能な良い変化を生むために人々が手を取り合って行動する世界を目指す事が大切であると問いかけています。

ロータリー財団の使命では、ロータリー財団は、ロータリアンが、人びとの健康状態を改善し、質の高い教育を提供し環境保全に取り組み、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるように支援する事が大切だと説いています。更にロータリー財団の役割(数値目標)は、

年時基金一人当たり150ドル

年時基金寄付ゼロクラブゼロ達成を継続する

ポリオプラス基金一人30ドル

冠名基金を各地区1件以上設立

「大口寄付0地区」ゼロを目指す
AKSを日本全体で10名増やす
等々日本の数値目標を具体的に示すことで目標達成までの道のりを平坦な事に置き換えた点が画期的だと思われます。

ポリオ根絶の項目では、ポリオの根絶が依然としてロータリーの最優先事項であること、「ポリオのない世界」という夢を追い続け、多くのことを成し遂げてきたこの35年間を、誇りとするということが決して全てではない事を改めて訴えかけています。

寄付文化の醸成では、米国企業の社会貢献を具体的に数値を添えて示しています。

マイクロソフトの創業者ビル・ゲイツが社会貢献事業のために設立したメリンダ&ビル・ゲイツ財団は、ポリオ根絶に国際ロータリーと協調して2017～20年に3億ドルの寄付を行っています。更にはアマゾンの創業者、ジェフ・ベゾスは、DACA（子供の頃、親につれて米国に不法入国した若者）の大学生に37億円の奨学金を寄付。米国では富裕層が多額の寄付を行うことが当たり前である事も述べています。

寄付文化の醸成は日本でも広がることを期待すると述べています。

飯村RRFCの人柄なのか優しさが一杯に広がって何となく頷いている自分に辿り着く、多分彼の持ち味というか性分なのかも知れないと思ってしまう不思議な人でした。

* 大口寄付について

細川吉博E/MGA（帯広北RC）

* 地区補助金について

工藤一則チームリーダー（帯広北RC）

* グローバル補助金について

行木隼人チームリーダー（音更RC）

* 奨学金・学友について

山川国土チームリーダー（旭川北RC）

* ロータリー平和フェロシップについて

東海林勉チームリーダー（遠軽RC）

細川E/MGAを始め地区財団委員会各チームリーダー4人が時間内に纏めてくれた事に感謝します。特にE/MGAの細川さんが大口寄付の現状の問題点を的確に示してくれたのが好評でした。恒久基金の解釈等優しい語り口でソフトに語りかけるようにされたのが大正解でした。工藤・行木・山川・東海林各々チームリーダーにしても普段通りにしかも時間を使わない方法でしっかりやってくれた事は面目躍如だったと思います。この次は10月に補助金管理セミナーがあります。これからも財団委員会を宜しくお願い致します。

飯村眞一RRFC（宇都宮90RC）

1990年創立された為宇都宮90RCと名乗る。その時の創立幹事。

2013-2014国際ロータリー
第2550地区ガバナー

細川吉博E/MGA（帯広北RC）

2018-2019国際ロータリー
第2500地区ガバナー

工藤一則地区補助金team-leader（帯広北RC）

行木隼人グローバル補助金team-leader

（音更RC）

山川国土奨学金・学友team-leader

（旭川北RC）

東海林勉ロータリー平和フェロシップ

team-leader（遠軽RC）



学生時代に感じたことについて

世話クラブ：北海道2500地区ロータリーEクラブ

旭川市立大学 経済学部 経営経営学科 4年生

申 始 煥

(Shin Sihwan)

韓国から日本の旭川大学（現、旭川市立大学）まで、一人で渡日し、留学生活をしながら、私は色々な経験をし、時には寂しかったり、困ったりしたこともありました。沢山の人の恵まれて今まで少しずつ成長して来られたのではないかと思います。

今、大学4年生になって、過ぎ去った日々を振り返って見ると本当に今まで出会った人々に感謝の言葉をお伝えしたいです。私は大学で、日本語と日本の文化、又、アイヌ民族の歴史、異文化間教育、社会学、哲学など、留学生活に必要な基礎教養知識を教えられ、専攻の経済学及び農業、地域、国際、環境、労働、金融、組織、経営などの多方面での経営経済関連の専門知識も身に付けられました。

下手な日本語で日本人の学生たちと肩を並べて授業し、試験を受け、単位を全部取ることができたのは、大学の先生方々の熱情的な講義と留学生の私に対しての細かい心遣いのお陰であることを私はよくわかっています。

私は大学2年生の時は経営の理論と知識を「街の元気づくり」というイベントで実践するゼミで、高校生とラーメン店の協働プロジェクトの「旭川ラーメン甲子園」を主催し、企画立案、資金調達、出場校の募集、修行の立ち合い、大会運営、会計決算など、事業全体を総括した経験を通じて、ローカルの視野やおもてなし精神、仲間たちとのチームワークの大事さ

などをわかるようになりました。

大学3年生の時はもっと視野を世界に向けたいと考え、世界経済、特にアメリカ経済を英語の願書で読みながら、研究しました。それから、大学4年生からは国際経済の動向をデータで把握し、もっとグローバルな視野で世界を眺められるようになりました。このように、私は世界経済も地域から始まらなければというグローバルなマインドを大学のゼミ活動を通じて、身に付けるようになりました。

最後に、私の留学生生活をいつも支えてくれた大学の学務課の関係者の方々、そして、私の大学生活を豊かにしてくれた国際交流サークルと東日本大震災のボランティアサークルのメンバーたちにもとてもありがたさを感じています。

何より、今年、私が米山ロータリーの奨学生として、北海道2500地区ロータリーEクラブの会員方々に出会えてとてもうれしく思います。

毎月楽しい思い出とともにいつも家族のように細やかなお世話を焼いて下さる中嶋カウンセラーさんと北海道2500地区ロータリーEクラブの皆さんにも誠に感謝の意を表したいです。

今まで留学生活で出会った皆さんの大切な絆のお陰で、私は今の自分でいられたと思います。

《以上、お読み頂きまして、誠に有難うございます。》



事務局より
お知らせ

公式訪問レポートの掲載がはじまりました

【公式訪問報告】・【地元自慢等】
公式訪問終了後、順次ガバナー月信に掲載いたしますので公式訪問終了クラブ様はガバナー事務所まで下記の書式にご記入をして、早急にご提出いただきたく、お願い申し上げます。

(月信掲載用)

国際ロータリー第2500地区
地元自慢等報告

クラブ名 R C 幹事名

※注：お名前は、字体を揃えて書きますと、間違っって掲載されることがありますので、
漏さずにお書きくださるようお願い申し上げます。

<ふりがなは、必ずお書き下さい。>

文責者氏名	役職
ふりがな	

※漏さずにお書きくださるようお願いいたします。

地元の自慢ならなんでも
わが街に来たら、ここに寄って(土産・グルメ・景色など)

22字×11行=242字以内でお願いします。

◆ 報告日： 年 月 日

鶴見誠一郎ガバナー事務所へご報告ください。

Eメール： 2023-2024_governor-office@rid2500.jp
FAX： 0158-28-8281

(月信掲載用)

国際ロータリー第2500地区
公式訪問報告

クラブ名 R C 幹事名

※注：お名前は、字体を揃えて書きますと、間違っって掲載されることがありますので、
漏さずにお書きくださるようお願い申し上げます。

<ふりがなは、必ずお書き下さい。>

文責者氏名	役職
ふりがな	

※漏さずにお書きくださるようお願いいたします。

公式訪問に関して、クラブのPRなど

22字×11行=242字以内でお願いします。

◆ 報告日： 年 月 日

鶴見誠一郎ガバナー事務所へご報告ください。

Eメール： 2023-2024_governor-office@rid2500.jp
FAX： 0158-28-8281

公式訪問レポート

第7分区 釧路西ロータリークラブ 会長 金田 剛 幹事 岡安 正人

訪問日 7月10日

クラブ自慢

マニラ・バリとともに世界三大夕日の一つの都市として数えられている釧路市は、漁港都市でもあるため、魚はもとより近郊の酪農地域から羊肉や乳製品なども大変美味しく食べられるグルメ都市であります。

また、周辺には大自然の一角である釧路湿原国立公園、天然記念物である鶴が間近で見られる鶴公園、阿寒湖温泉街などのアクティビティも充実しています。

ぜひお越しいただき満喫していただきたいです。
(副幹事：平 信二)



釧路西ロータリークラブは昭和45年6月8日創立、本年度は会員数28名で運営しています。釧路西RC独自事業として青少年奉仕事業が盛んに行われており、西RC会長杯小学生バレーボール大会、小中学生柔道大会などを開催しております。

本年度は、大胆な変革期と捉え、例会を月2回に固定化し、家庭集を増やし会員相互の交流を図り親睦を深め、好意と友情を深め、よりよいロータリー活動に邁進する所存であります。

ガバナーに於かれましては、当年度公式訪問初日にて弊クラブを訪問下さりありがとうございました。
(副幹事：平 信二)

公式訪問レポート

第7分区 釧路東ロータリークラブ

会長 板本 良治 幹事 清水 荘一

訪問日 7月11日

クラブ自慢

- (土産) ゆうひ。
 - (菓子) くじらすく・丹頂のたまご・地酒ケーキ福司・さんまんま・紅鮭っししゃもっ子。
 - (グルメ) 獲れたて新鮮な海産物を炭火で焼き上げる炉端焼き・釧路発祥のザンギ・熱々鉄板皿スパカツ・緑蕎麦麺のそば。
 - (景色) 植物がモチーフの建物が目印釧路湿原が一望できる釧路市湿原展望台、昼間も夜も景色が美しい幣舞橋。
- (会長：板本 良治)



我が釧路東ロータリークラブは親睦に尽きますと思います。年長の会員から若い会員まで礼節を保ちながら和気あいあいと奉仕活動に取り組んでおります。

また40年以上続きますゴルフ親睦会（東桜会）が有りまして我がクラブ会員以外にも他クラブからも多数参加頂いております。

ポリオ根絶にも募金活動の継続、環境保全活動（アオダモの森）（ロータリーの森）の清掃維持活動に取り組んでおります。

(会長：板本 良治)



第7分区 釧路ベイロータリークラブ

会長 千葉 潔 幹事 横山 豊

訪問日 7月11日

クラブ自慢

- 地域自慢～漁獲高、国内2位の魚の美味しいまち、釧路湿原のある自然豊かなまち、幣舞橋から望む世界三大夕日のまち、長期滞在者数道内1位の涼しい町炉端焼き、勝手井、スパカツ、蕎麦、釧路ラーメン、砂糖をまぶしたフレンチドック等々…食の町
 - クラブ自慢～団結力のあるのが釧路ベイの自慢です。遊ぶときは、ド派手に、されど紳士たれ、これがモットー。
 - クラブにとって大事な歴史～21名の少人数ながら、過去にガバナーを2人輩出していること。
 - クラブで力を入れて取り組んでいること～青少年の為の奉仕、将棋大会の開催、釧路高専華道部への支援、ロータリー・米山財団への寄付、他クラブとの交流
- (幹事：横山 豊)



最初に会長・幹事懇談会が行われ当クラブの現状での課題、これからの展望について懇談する。当クラブからは会員増強についてお聞きするが、ガバナーからの助言はメンターの配置がクラブ運営に有効であり、メンターのサポートにより会員のクラブに対する理解が深まり、適応・定着をより一層すすめることが出来るのお話を頂く。意見交換会においても、ライラ、RLI等の質問に対し丁寧な説明を受けることが出来た。また寄付については寄付としてとらえるのではなく支援させていただくという発想の転換、マイロータリーの登録率向上を訴えられ、当クラブとしてもこれらに取り組む必要を認識することが出来た。

有意義なガバナー公式訪問であった。

(幹事：横山 豊)



公式訪問レポート

第7分区 釧路北ロータリークラブ

会長 菊池美恵子 幹事 佐久間泰弘

訪問日 7月12日

クラブ自慢

釧路市の自慢は沢山ありますが、この季節に絞って言うと、何と言っても「夏の涼しさ」を上げたいと思います。この涼しさを求めて長期滞在者数が年々伸びています。8月の平均気温も22°Cほどで8月は「港まつり」9月は「どんぼく祭り」も開催され賑わいを見せます。9月は釧路特有の霧、もしくはジリも少なく、天気の良い日が多く、とてもオススメです。世界三大夕日と言われる幣舞橋からの夕日は、10月以降は情熱的で哀愁を帯びた色を見せます。寒くなる前にぜひ釧路市へお越しください。

(幹事：佐久間 泰弘)



会長方針「のっく!のっく。のっく。」～ For Well being～ のっく=ノック 扉はコンコンと叩きますが、菊池美恵子会長の“のっく”は心の扉を叩く心への問いかけ、扉を皆で一緒に開いて新しい一歩を踏み出しませんか?という問いかけを、この“のっく”という言葉で表現しています。

もう一つ“のっく”するのは我々の国「日本」。地域の歴史、文化を学ぶ創立65周年記念事業を「祭り」という形で地域の子供達、住民の皆様と共に作り上げて参ります。ロータリーと地域の人々が共に満たされ繋がり、大きな輪を広げます。

(幹事：佐久間 泰弘)



第7分区 釧路ロータリークラブ

会長 後藤 公貴 幹事 佐藤 貴之

訪問日 7月13日

クラブ自慢

2つ国立公園を有する自然環境と、基幹産業である漁業を中心とした豊富な食資源を誇り、独自の文化と歴史、冷涼な気候を持つ釧路地域は住みやすく、また訪れる地域としても魅力的である。

世界三大夕日と言われている幣舞橋から見る夕日や北海道第四のご当地ラーメンとしての釧路ラーメンも有名である。

(幹事：佐藤 貴之)



公式訪問レポート

第7分区 白糠ロータリークラブ

会長 片山 清孝 幹事 森 武人

訪問日 7月14日

クラブ自慢

白糠町では、年間2,000時間を超える長い日照時間と冷涼な気候を活かした『太陽光発電』や、間伐材を主な燃料として使用する『木質バイオマス発電』、さらには地熱発電に向けて掘削の技術者を育成する掘削技術専門学校など、『再生可能エネルギー』によるまちづくりが推進されています。自給率が低い日本の将来に必要な食糧やエネルギーを供給できるように、まちづくりが推進されています。

ほかにも、18歳までの医療費無料化、保育料や給食費の無料化などによる経済的な支援、そして町技であるバドミントンでは、インドネシアからコーチを招き、競技人口の増加やレベルアップを図るなど、『子育て応援日本一のまち』を目指した取り組みが進められています。

(幹事：森 武人)



第7分区からスタートしたガバナー公式訪問ですが、7月14日(金)白糠町レストランはまなすに、鶴見ガバナーをお迎えしました。

会長・幹事懇談会、意見交換会に引き続き公式訪問例会が行われ、終始なごやかな雰囲気の中、予定通り執り行われました。鶴見ガバナーには、白糠町の様子も含めパワーポイントで、分かりやすく説明をしていただきました。

会員数10名の小さなクラブではありますが、会員個々の意思疎通がスムーズで、小回りの利くクラブ運営が自慢の一つです。

(幹事：森 武人)



第7分区 釧路南ロータリークラブ

会長 長江 孝文 幹事 佐藤真之介

訪問日 7月14日

クラブ自慢

我が街『釧路』の自慢と言えば、『食・自然・気候』です。釧路市は、北海道の東(道東)に位置する人口約16万人の街です。釧路市と言えば水産と言う人も多いですが、『釧路ラーメン』『ザンギ』『蕎麦』などが有名であり、水産物だけではなく他にも沢山の名物が数多くあります(水産物は当然おいしいです)

他に自然にも恵まれており、『釧路湿原』を始め『釧路川』や『雌阿寒岳』など、釧路市からそう遠くない箇所に沢山の自然もあり、温泉地も『阿寒湖畔』や『川湯温泉』などがあります。

気候も、8月でも平均気温が22℃と過ごしやすい気温ですが、霧がよくかかり観光で訪れた方は、釧路幣舞橋から見る夜の釧路川は人気スポットです。

釧路の街、数多くの観光地が多く書ききれない位沢山あるので、是非『釧路』に遊びに来る際は、調べてから来て欲しいと思います。

(幹事：佐藤 真之介)



釧路南ロータリークラブの特徴は、アットホームでロータリー歴が長い会員も短い会員も、仲が良くロータリー活動以外でもプライベートで交流をとる事が多いクラブです。先輩ロータリアン達も入会したての会員が困っている時はアドバイスをくれたり、手助けをしてくれたり、私もロータリー歴は短いですが、楽しくロータリー活動を行っています。

この度、令和5年7月14日(金)に、『第2500地区ガバナー 鶴見誠一郎』氏が釧路南ロータリークラブに訪れ、これからのロータリー活動について、大変貴重な講演をして頂きました。特に、会員増強に関しましては、大変参考になる講演を聞く事が出来ました。今年は例年と違いガバナーとの直接で行われました『意見交換会』は、釧路南ロータリークラブ会員から直接ガバナーに質問や要望などお話し出来たことは、大変良かったと思います。

今後、釧路南ロータリークラブ運営に、今回の意見交換会で学んだ事を生かし、活動していきたいと思っております。(幹事：佐藤 真之介)



公式訪問レポート

第6分区 芽室ロータリークラブ

会長 木村 淳彦 幹事 西川 一浩

訪問日 7月18日

クラブ自慢

芽室町は、十勝平野の中央部に位置し、秀麗な日高山脈を背に、大自然の懐に抱かれたまち、それが「めむろ」です。

農業が基幹産業であり、肥沃な大地と気候条件に恵まれ、小麦・てん菜・馬鈴薯・豆類・スイートコーン等の畑作では、道内有数の生産量を誇っております。工業は、地理的な物流条件の良さや、帯広市に隣接している立地条件を活かし、農産物などの豊富な地場資源を活用した食料品製造業を中心に発展しています。また、芽室町は、『ゲートボール発祥の地』です。創始者鈴木和伸氏は、戦後間もない頃、青少年のためスポーツとしてゲートボールを考案し、町内では高齢者から子どもまでが楽しんでます。（幹事：西川 一浩）



鶴見誠一郎ガバナー様、田中義博ガバナー補佐様、RI2500地区副幹事 山本大將様、7月18日（火）芽室ロータリークラブへの公式訪問例会に遠路お越し頂きましたことに感謝を申し上げます。

当日は、会長・幹事懇談会と意見交換会さらに公式訪問例会と鶴見誠一郎ガバナーの人柄を直接拝見することが出来た事が大変有意義でありました。特に、公式訪問例会では、当クラブに寄り添ったガバナーの研究心の深さからのご提言等を頂き、今期の当クラブの具体的な行動へ繋げて参りたいと思います。

今後とも第2500地区の皆様のご指導を宜しくお願い申し上げます。

（幹事：西川 一浩）



第6分区 音更ロータリークラブ

会長 阿部 英輝 幹事 平尾 雅子

訪問日 7月19日

クラブ自慢

音更ロータリークラブは、昨年度30周年を迎え、更なるクラブ活動の飛躍を目指し今年度41名の会員でスタートしました。

創立5周年記念から子供達や多くの町民の方々に本を目にして頂きたく、音更町への図書費の寄付を毎年創立記念日に合わせ継続しております。また、スポーツ振興の一環として、音更町ミニスポーツ大会への活動支援金の寄付を2011年より継続しているところです。本年度2023-24年度は音更町由来で、ゴジラ作曲で有名な伊福部昭氏にちなんだジュニアオーケストラに地区補助金を活用させて頂き、楽器の提供とコンサート開催時の会場のお手伝い及びポリオの寄付啓蒙活動も積極的に同時に行います。

音更町は人口43,000人程の北海道で一番大きな町で、一次産業の農業は小麦の生産が日本一の日本の食糧基地です。観光では十勝川温泉があり、世界で2箇所しかないモール温泉があり『美人の湯』として愛されている温泉です。皆さんも是非お立ち寄りください。（会長：阿部 英輝）



音更ロータリークラブは1993年に創立し31年目を迎え、会員は41名(内女性会員5名)のクラブです。

帯広北・帯広東・音更の3RCで十勝ロータリー奨学会の運営、地区補助金を活用した社会貢献・奉仕活動を積極的に行い、クラブ活動をメディア等を通し地域へ積極的に発信しています。

7月19日鶴見誠一郎ガバナーの公式訪問例会意見交換会を開催し、ガバナーより訪問活動変更内容説明・地区活動方針7項目を実践出来るようアドバイスもいただき有意義な例会となりました。また本年度はクラブより田中ガバナー補佐を排出しており、『元気なクラブづくりのために』共に考え活動して参りたいと思います。

（会長：阿部 英輝）



公式訪問レポート

第6分区 帯広ロータリークラブ

会長 工藤 大輔 幹事 猿川 陽介

訪問日 7月19日

クラブ自慢

日本離れした雄大な大地に育まれた帯広には、人気の「豚丼」はもちろん、お土産の定番「六花亭」や「柳月」以外に人気の大判焼き「高橋まんじゅう屋」やスイートポテトの「クランベリー」など行列ができる人気店があります。アイスやジェラート、ケーキなど美味しいお店はたくさんありますが、個人的にはお菓子の館あかつの「極楽プリン」がお薦め。

また、グルメと景色を一緒に味わえるのもこの地域の特徴です。生産者が農産物を消費者へ直接届けるスタイルが増え、農村の牧歌的な風景を見ながら直営レストランで地場食材を堪能できます。既存のファーム・イン（宿泊）やファーム・レストランに加え地域の観光資源となっています。（会長：工藤 大輔）



会長幹事懇談会終了後の意見交換会は正直盛り上がるのか？心配しておりましたが、自由闊達な意見交換ができ大変有意義でした。ガバナー公式訪問夜間例会では弊クラブにあったご提案や示唆にとんだ内容に感激致しました。その後は懇親会も最後までお付き合いいただき感謝申し上げます。

さて、当クラブは今年度創立89年で、90周年、100周年が目前となり、改めて歴史の重さを感じていますが、同時に時代に則したクラブづくりが必要と考えています。私たちは「Merry Rotary!」ロータリーで盛り上がり方をテーマに委員会活動を中心に楽しみながら奉仕を実践し、多くの仲間をつくることのできるクラブです。

（会長：工藤 大輔）

第8分区 厚岸ロータリークラブ

会長 成澤 則充 幹事 西田 哲己

訪問日 7月24日

クラブ自慢

厚岸RCは現在16名。「花と味覚と歴史の町あつけし」で活動しています。地域社会への貢献活動として、「ロータリーの森」の造成とその育成管理をしております。また毎年4月に町内新入児童全員に連絡袋の贈呈、そして交通安全祈願祭を行っております。厚岸と言えば牡蠣とウイスキーです。大変好評で、町外から買い求めにたくさんのお客様が来ます。そんな厚岸ウイスキーを飲みながらの夜間例会は人気です。是非、厚岸町へお越しください。（会長：成澤 則充）



鶴見誠一郎ガバナーには、7月24日に訪問していただきました。普段の気温は20度前後なのにその日は29度くらいまで上がり汗を拭きながらの公式訪問となりました。鶴見ガバナーは事前に厚岸町の事を調べておりスムーズに会長幹事会に入れることができました。とても気さくで本音の話のできるガバナーだと感じました。これからのロータリー活動についてや想い等、意見交換をさせていただき、とても有意義な公式訪問となりました。ありがとうございました。

（会長：成澤 則充）

公式訪問レポート

第8分区 根室ロータリークラブ

会長 遠藤 輝宣 幹事 木村 輝昌

訪問日 7月25日

クラブ自慢

日本最東端の街「根室」、朝日に一番近い街「根室」、オホーツク海と太平洋、海に突き出た根室半島。根室自慢の海の幸を是非!! 本場ならではの味わいが、食べる楽しみを改めて教えてくれる。

ふるさと納税の寄付額ランキングでも、毎年上位にランクインしていて多くの皆さんに根室の「味覚」が認められています。

人気の花咲蟹、ウニ、サンマ、ホタテ、いくら等…霧も深いが情けも深い、私たち根室市民が貴方をお待ちしております。

また根室エリア全体が野鳥の宝庫として知られています。現在、日本で観察できる野鳥は約360種類、その半数以上をここ根室で観察できるとあって日本をはじめ世界からバードウォッチャーが訪れています。
(幹事：木村 輝昌)



根室ロータリークラブは、日本の最東端に拠点を構えるクラブです。

当クラブが誕生したのは終戦から14年度後の事でしたが、創設時のメンバーが「街の中に緑を取り戻そう!」と植えた苗木が見事な大木となり、今では根室公園の一部となり市民の皆様のお憩いの場所になっています。

また、この「ロータリーの森」に近年「桜」の植樹も行いました。公園内には屋根付きのバーベキューコーナーも設置されていて、春には花見をしながらバーベキューを楽しむ事ができる市民にも人気の公園となっております。

今後も植樹の場所を考慮しながら市内の各公園や学校、公共施設などに「ロータリーの森」を増やして行こうと考えています。

(幹事：木村 輝昌)

第8分区 根室西ロータリークラブ

会長 坂巻 秀敏 幹事 大島 義孝

訪問日 7月25日

クラブ自慢

根室市は、日本最東端にあたり、主要都市の中で最も北方領土に近い街です。納沙布岬が有名で、奇跡の島とも呼ばれる野鳥の宝庫、春国岱や風蓮湖、日本100名城のひとつ根室半島のチャシ跡群など絶景スポットがある他、水産業が盛んな街でもあり、幻の蟹「花咲かに」や水揚げ日本一の根室の「さんま」など新鮮な海の幸の他、美味しい日本酒「北の勝」、根室発祥のエスカロップ、オランダせんべいなどを楽めます。

根室かに祭り、根室さんま祭り、北海道三大祭のひとつ金刀比羅神社例大祭にも是非お立ち寄りください。

(幹事：大島 義孝)



会長・幹事会では、RI・地区、そしてガバナーの思いや坂巻会長のクラブの思い等で大いに懇談が盛り上がり例会開催の6分前に終了。幹事として焦りました。

例会では初めにバナー交換、基調講演。続いて意見交換会では、新たな挑戦を主題の他、財団についても意見を深める事ができました。

終了後は、根室RC様と合同でガバナー歓迎懇親会を開催し、親睦を深める事ができました。全体をとおし、根室西RCは、温故知新、伝統を大切に継承すると共にその中で、変革に挑戦できるクラブです。

地区と共にクラブの仲間と共に思い切りロータリーを楽しみたいと思います。

(幹事：大島 義孝)

令和5年9月1日

国際ロータリー第2500地区
ロータリークラブ会長・幹事 各位

国際ロータリー第2500地区
2023-2024年度 ガバナー 鶴見 誠一郎
ガバナー指名委員会委員長 細川 吉博

国際ロータリー第2500地区 2026-2027年度 ガバナー候補者推薦の要請

国際ロータリー第2500地区ガバナーは、地区内ロータリークラブに対して、RI細則14.010、ならびに14.020の規定に基づき、2026-2027年度ガバナー候補者の推薦を各クラブに要請する。13.020.4の規定により、ガバナーが定め、通知した期日までに指名委員会で受理されたクラブからのガバナー候補者の推薦が審議されるものとする。

なお、指名案により推薦されるガバナー候補者は、RI細則16.070の各項目ならびに16.080の要件を満たす会員でなければならない。

また、書類提出期限を過ぎてもクラブからの推薦が無かった場合には、指名委員会がガバナー職任務を遂行するのに得られる限り最適任の候補者を指名するものとする。

(RI細則14.020.5、14.020.10)

記

- 届出書式：1. クラブからのガバナーノミニー推薦・RI細則14.020.4の規定に基づく
幹事の署名による決議文
2. 推薦者の顔写真 略歴

提出期限：2023年11月30日

推薦書送付先：〒094-0007

紋別市落石町4丁目19-5

国際ロータリー第2500地区

ガバナー 鶴見 誠一郎

以上



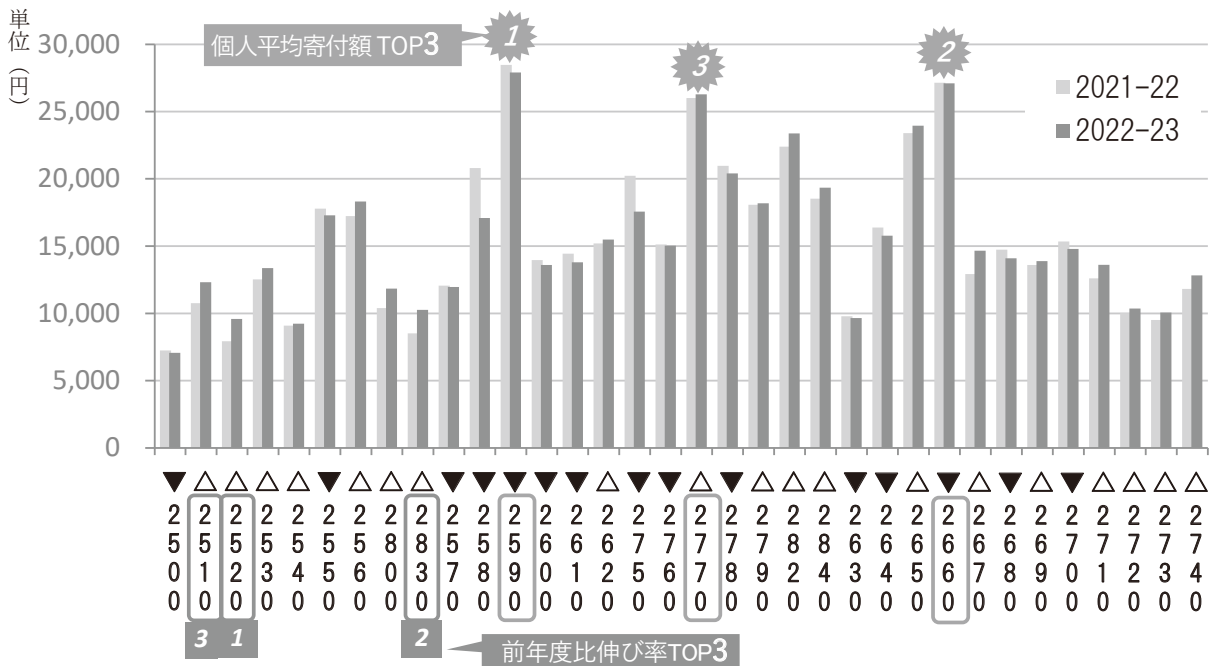
公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース

ハイライトよねやま

vol. **280**
2023年7月13日
発行

1. 2022-23 年度 寄付金結果

2022-23 年度の寄付金は約 14 億 2,300 万円となりました。前年度比 5.7% 増（普通寄付金: 1.2% 減、特別寄付金: 8.8% 増）、約 7,700 万円増加しました。とりわけ、2 人の学友からそれぞれ約 6,900 万円、1,000 万円という高額寄付をお送りいただいたことなどもあり、今年度の予算を達成することができました。皆さまに厚く御礼申し上げます。2023 年度も引き続きご支援を賜りますよう、よろしくお願いたします。



個人平均寄付額 TOP3 【全国平均：16,960 円】

① 第 2590 地区：27,903 円 ② 第 2660 地区：27,097 円 ③ 2770 地区：26,283 円

前年度比伸び率 TOP3

① 第 2520 地区：120.9% ② 第 2830 地区：120.5% ③ 第 2510 地区：114.5%

2. 第 2 回 次期地区米山奨学委員長セミナー開催

2023-24 年度の地区米山奨学委員長を対象とする第 2 回セミナーを 6 月 13 日、米山梅吉記念館（三島）で開催しました。セミナー開始前に市川学芸員から、館内展示と梅吉翁の墓所を案内していただきました。

セミナーは若林紀男理事長の挨拶に続き、事務局から学校説明会や奨学生選考の注意点の他、学友会、広報、寄付の説明を行いました。



その後 4 グループに分かれ、奨学生選考、奨学生育成、学友会の活性化などをテーマに、各地区における現状の課題や、取り組みについてディスカッションを行いました。最後にディス

カッションの内容を代表者が発表し、井原実常務理事の挨拶で閉会となりました。全国から集まった次年度委員長間で活発な意見交換が行われました。

3. 学友ロータリアンが10万円寄付「毎年続ける」

中国出身の米山学友で、第2620地区甲府中央RCに所属する伊原 廣鴻さん（1997-98/一宮RC）が10万円を寄付し、6月26日の例会にて第1回米山功労者として表彰されました。

現在は山梨県内で内科医として勤務している伊原さんは、「米山奨学生に合格した時は、世界が変わったかのように嬉しかったことを今でも覚えています。一宮RCの当時のカウンセラーさんには何から何までお世話になり、本当に感謝しています。これからは、米山奨学生だったことへの恩返しをするべく、毎年寄付を続けるだけで



渡辺委員長から感謝状を授与された伊原さん(右)

なく、医療でも地域に貢献していきたいです」と、力強く今後の意気込みを語りました。

例会では、同地区の渡辺郁米山記念奨学委員長が卓話を行い、当事業の概要について説明。質疑応答も行い、米山奨学事業への理解を深めました。同クラブは、衛星クラブとしての活動を経て、2022年4月に正式にロータリークラブとして始動。第2620地区内において女性比率1位のクラブとして2年連続で表彰された特徴的なクラブで、2023年4月からはモンゴルからの奨学生を受け入れています。

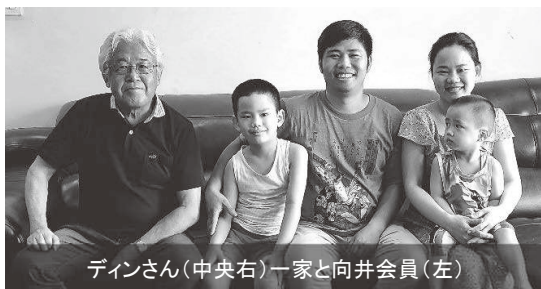
4. 10年の時を経てベトナムで再会

米山学友の累計数が23,000人を超え、今や世界中で学友が活躍しています。今回は、10年の時を経て学友と再会を果たしたロータリアンの話をご紹介します。

第2670地区、阿波徳島RCは2013年から1年間、ベトナム出身のディン・ミン・フィーさんの世話クラブとなりました。当時クラブ米山委員長だった向井眞一会員によると、例会後共に食事に行き飲み交わしたり、クラブの野球チームに参加したりと、ディンさんは「社交的で、明るく真面目な性格の好青年」だったそうです。奨学期間終了後、ベトナムへ帰国したディンさんは、同地区の米山学友であるフィン・チャ

ン・ティー・フェンさん（2011-13/美馬RC）と結婚。向井会員にも結婚報告の連絡が届きました。直接お祝いすることは叶いませんでしたが、今年6月のベトナム出張を機に、ディンさんと再会。現在は不動産関係の職に就き、1人の父親として大きく成長した姿を目の当たりにし、感銘を受けたそうです。

現在も堪能な日本語を操るディンさんは、「また日本に行ってクラブの皆さんに挨拶がしたい」と思いを語り、クラブの方へのお土産をくれたそうです。向井会員は、その様子を帰国後の例会で披露。10年という月日が流れても、変わらず素敵な交流が続いています。



ディンさん(中央右)一家と向井会員(左)

Thank you



2021年12月に当会へ100万円をご寄付いただいた台湾出身の張忠信さん（1961-64/東京RC、1964-65/東京日本橋RC）からこのたび、2回目のご寄付として1,000万円をいただきました。張さんは、自身と同じ台湾出身の米山学友が累計で3,500人を超え、多くの後輩たちが巣立っていることに對し、喜びを語りました。改めて、お気持ちに感謝申し上げます。

学友からの高額寄付



公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース

ハイライト よねやま

 vol. 281
 2023年8月15日
 発行

1. 「再会 in 関東」開催 過去最多の1,000人超え

第3回米山学友による世界大会「再会 in 関東」（主催：関東10地区米山学友会）が8月5日、つくば市国際会議場で開催されました。また、前日には前夜祭、6日にはつくば市内で文化体験バスツアーが行われました。今回つくば市が開催地となった背景に、世界最大級のサイエンスシティが、勉学を目的に来日した経験を持つ米山学友が集うのに相応しい都市であるだけでなく、東日本大震災の被災地でもある地で大きな集いを開催することで、地域貢献・活性化に繋がりたい、という実行委員会の思いがあります。その思いの通り、世界38カ国の米山学友と現役奨学生638人、ロータリアン447人、その他家族などを含め、登録者数は総勢1,209人となり、広い会場は超満員となりました。



世界各国から集結した米山学友たち

同日午前中には、各学友会の活性化を目指したポスター、キャリアデザイン支援を目的とするビジネスポスターが会場内の壁面いっぱいに飾られ、当会役職理事や主催の関東10地区ガバナーの審査により、優秀作品に選ばれた作品には、式典内で目録が贈られました。また、「米山フェスティバル」と題し、各国のお菓子を持ち寄り、交流の時間が設けられました。

14時半から本大会式典が開始。オープニングセレモニーでは、第2回世界大会「絆 in モンゴル」実行委員長のジャンチブ・ガルバドラッハさん（1998-99/山形北RC）から、「再会 in 関東」実行委員長の朴貞子さん（2006-08/岸和田RC）へ米山世界大会シンボルの引き渡しが行われました。当会の若林紀男理事長、韓国学友会の全炳台会長（1980-83・91/仙台



朴実行委員長（左）へ引き継がれた大会のシンボル

北RC）、つくば市市長の五十嵐立青氏から、祝辞が述べられました。

今大会の開催に向けて、主催の関東10地区学友会ではチャリティー奉仕リレーとして募金活動を行い、集まった寄付金407,381円は、子供の貧困問題に取り組むNPO法人 Learning for All の山村卓矢氏へ手渡しされました。

「米山学友の在り方と世界大会の開催意義」をテーマに行われたパネルディスカッションでは、ファシリテーターの第2750地区宮崎陽市郎ガバナーと米山学友5人が登壇し、奨学生時代の思い出や、当事業への思いが語られました。その後、今年7月から活動を開始した第5代よねやま親善大使3人による自己紹介、米山梅吉記念館についての紹介を挟み、百人合唱祭ではテーマソングである「米山の絆」の大合唱が行われ、会場は熱気に包まれました。



ステージで「米山の絆」を合唱

会場を移して迎えた第二部の懇親会では、ベトナムやミャンマー、国内学友による民族舞踊、ダンスパフォーマンス、演奏や合唱が次々に披露され、笑顔で溢れた会場は、大盛り上がりそのまま閉幕となりました。

次回の第4回となる世界大会の開催地は台湾に決定。2026年6月に開催予定です。

2. 2024 学年度 奨学生の募集を開始

来年4月採用の新規奨学生募集が始まりました。各地区の米山記念奨学委員会が選定し、当会選考・学務委員会と常務理事会の承認を経た指定校は、全国で563キャンパス（前年度569キャンパス）。指定校からの被推薦者数は1,789人（同1,901人）で、この中から新規奨学生約610人が選ばれます。今回、初指定校は6校。また、5地区が例会に通える範囲の地区外の大学を指定。大学・大学院以外を対象とする地区奨励奨学金は、14地区（同13地区）39

校（同33校）となりました。各地区米山奨学委員会では毎年、学校説明会や担当者との懇談を行い、事業の目的に合う多様な人材を採用しようと努力しています。

当会からは8月4日に、全指定校に宛ててメールで通知しました。指定校からの応募締切は例年通り、10月15日となります。

※指定校一覧、募集要項・申込書式は、当会ホームページにて公開しています

3. 寄付金速報 —2023-24 年度も好調にスタート—

前年同期比

+ 47.3%

普 - 0.8% 特 + 177.4%

2023 - 24 年度の最初の月となる7月の寄付金は約3億1,100万円でした。前年度と比べて約47.3%増（普通寄付金：0.8%減、特別寄付金：177.4%増）、約9,990万円の

増額となりました。前年度より1億円近くの高額寄付となったのは、年初早々に1億円の高額寄付をいただいた結果です。また、100万円以上のご寄付が個人・法人合わせて6件ありました。ご寄付いただきました皆さまに厚く御礼申し上げます。今年度も引き続きご支援を賜りますよう、よろしく願いいたします。

4. 北海道米山学友会が3年ぶりに総会開催

北海道米山学友会の総会が7月22日、札幌市内のホテルにて開催されました。同地区学友会はコロナ禍や会員数の不足により、しばらく活動を休止していましたが、約3年ぶりの総会開催となりました。当日は、準会員を含む12人の学友会員、16人のロータリアンの総勢28人が参加しました。

総会では、2022-23年度の事業報告、収支決算報告、2023-24年度の事業計画、収支予算案



などが協議され、終了後に懇親会を開催。久しぶりの再会を喜びました。

同学友会の朴^{パクヒョンジン}炫珍会長

（2014-15/札幌西RC）は、

「繋がりを保つ、という大きな

役割を持つ学友会活動ができなかった期間は、非常に辛かったです。今後時間をかけて元の状態に戻すために、ロータリアンの力を借りながら、ロータリアンと米山学友の関係・繋がりを強化していきます。私たちの活動を温かく見守り、ぜひ応援してください」と述べました。

米山学友と再会

ホームカミング制度をご活用ください

活躍する米山学友を各地区が毎年度上限2人までを選び、地区の行事に招待して、地区内のロータリアンへその活躍ぶりを披露していただく制度です。申請条件がありますので、以下詳細ページにてご確認ください。地区が誇る学友を一人でも多く見出し、米山奨学事業の意義を広めるとともに、学友との絆を深める制度としてご活用ください。

詳細ページ



Rotary
Region 1, 2 & 3



コーディネーター
NEWS

2023年8月号 No. 1

発行: Region 1, 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター
ロータリー財団地域コーディネーター



ロータリーアクトクラブへのアプローチ

第3地域

ロータリーコーディネーター

滝澤 功治

(神戸須磨RC)

ロータリーコーディネーター (RC) は戦略計画の推進と会員増強・新クラブ拡大を担当し、各地区のガバナーに協力し、各クラブの活性化を図る任務を与えられているものです。この「クラブ」にはロータリーアクトクラブ (以下 RAC) も入ります。

2019年の規定審議会で RAC も RI の構成員になりましたが、欧米ではともかく、日本では RAC の地位はまだまだロータリークラブと同等とは言えず、「支援」が必要ないように見えます。

2023年5月にメルボルンで開催された国際大会の分科会でも RAC が取り上げられていました。ここでは RAC の今後の取組として次のような提言がなされていました。

- Holding joint events
- More Rotaractors on Rotary and TRF Committees
- Evaluating specific training opportunities
- Setting goals in Rotary Club Central

私は最初の「イベントを共同で開催する」ということに着目しました。

第3地域では去る7月9日に戦略計画推進セミナーが開催されました。その中の RAC についてのセッションで、RI 第 2710 地区 (広島・山口) の板井貴大ロータリーアクト地区代表から、5月28日にマツダスタジアム周辺で行ったポリオ根絶のためのキャンペーンについて、今回は RAC が中心となって準備し、ロータリークラブの協力を得て実施したとの発表がありました。また RI 第 2720 地区 熊本大分の向井蓮ロータリーアクト地区代表からは、同地区と台湾の RI 第 3523 地区との姉妹提携に合わせ、両地区ロータリーアクトの交流協定も締結し、海外交流を行ったとの発表がありました。このように両地区がロータリーアクトを前面に押し出し、ロータリークラブの協力を得て積極的な活動を展開していることは素晴らしいと思いました。またこのセッションでは、中学・高校時代の同級生だった2人のインターアクターが、同じ大学に進学したらロータリーアクトで活動しようと約束したのに、入学した広島大学には RAC がなかったので、入学後わずか2か月で広島大学 RAC を結成したという発表がありました。発表した下野紗羽さんと當銘花奈子さんの2人の元インターアクターの行動力と発想の柔軟さに感銘を受けました。このような素晴らしい活動を起爆剤として、日本でも大学基盤の RAC がどんどん増えることを期待しています。

ロータリークラブは RAC にどのように対応すべきでしょうか。これについて、先般、ゴードン R. マツキナリー RI 会長は、RAC には「支援」ではなく「協力」することが必要だと言われ、バリー・ラシン TRF 管理委員長は、ロータリークラブは RAC のよきメンターにならねばならない、ロータリーアクトにはリーダーとして接することが重要だと言われました。肝に銘じておきたいと思います。

Rotary
Region 1, 2 & 3



コーディネーター
NEWS

2023年8月号 No. 2

発行: Region 1, 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター
ロータリー財団地域コーディネーター



第3地域

ロータリー公共イメージコーディネーター

丸尾 研一

(神戸西神RC)

第3地域のロータリー公共イメージコーディネーター (RPIC) を拝命しております、丸尾研一 (RID2680 神戸西神 RC) です。RPICは2年目になります。公共イメージコーディネーターの役割は、ロータリー内外でロータリアンを「世界 (地域) を変える行動人」として描き出す影響力の強いストーリー (ストーリーテリング) を特定し、効果的に発信する能力をクラブと地区が強化するのを援助することで、ロータリー行動計画を積極的にすること。地区の組織と連携して、主に地域社会におけるネット上の存在感を得られるように支援すること、メディアと地域社会に積極的に伝えること、ブランド認知度を高めるために、ロータリーのオンラインの公共イメージリソースの利用をクラブと地区に推進すること、地域に合った方法で公共イメージキャンペーンを実施するための方法についてクラブと地区に助言する、ポリオ根絶におけるロータリーと会員の役割について周知を図る。

また今回共有したいこととして、1 確認 ロータリークラブの公共イメージと認知度向上は重要テーマであること、2 自覚 ロータリアン一人ひとりが強力な広報マン (ブランド推進者) であること、3 行動 各クラブで広報マインドを高めて奉仕 活動の広報にチャレンジすること。私がロータリーに入会したころは、陰徳の美学を教え込まれましたが、いまや広報が重要であるとは言うまでもありません。

ここで話がかかりますが、今年久しぶりに行われた第50回神戸まつり (2019年以來4年ぶり) について記します。これまで5月の第3日曜日に開催されていたメインフェスティバルが、広島サミット開催と重なることから例年より一週間遅れの5月28日に開催されました。(おかげでメルボルンに行けなかった) 神戸まつりは三宮のフラワーロードを交通規制して、パレード行進を行うのですが、今年のトピックスは大きく2つ、一つは「神戸ジャズ100周年記念パレード」これは日本で初めてプロバンドによるジャズが演奏されてから100周年、もう一つは【ディズニー40周年スペシャルパレード】私のガバナー年度から毎年ロータリアン約40名と米山奨学生約20名と幼稚園児の鼓笛隊、約60名達と一緒に行進するのですが、この鼓笛隊の集客力は抜群、ロータリアンの比ではありません。沿道には、おじいちゃん、おばあちゃんたちがギッシリ並んでカメラのフラッシュ (思わず勘違い) でも無事終了することができ、関係各位皆様に感謝申し上げます。



Rotary
Region 1, 2 & 3



コーディネーター
NEWS

2023年8月号 No. 3

発行: Region 1, 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター
ロータリー財団地域コーディネーター



第3地域

ロータリー財団地域コーディネーター

永田 壮一

(熊本城東RC)

2023-2024 年度が始まりました。

新型コロナウイルス感染症も感染症分類の2類相当から5類となりました。変更の理由は決して弱毒化したとか、感染数が減ったという訳ではなく多くの人がワクチンを接種し、ワクチンの効果（感染予防効果や軽症化の効果）が認められ、また抗ウイルス薬も安定供給が確認できたためと思われます。

新年度からは多くの地区で従来通りの対面式のクラブ例会が開催されているようです。そして、例会のあり方にも変化が見られています。今まではメイクアップは他のクラブを直接訪問して行うものでしたが、Zoom やFace Time を使って Web 参加するハイブリッド例会をかなり多くのクラブが採用し、例会のあり方にも変化が出てきました。

さて、第3地域では、毎年ロータリー年度の始まりの7月に戦略計画推進セミナーを開催しています。今年も7月9日（日）・神戸ポートピアホテルに於いて、第3地域11地区のガバナー・ガバナーエレクト・ガバナーノミニ・地区会員増強委員長・地区公共イメージ委員長・地区ロータリー財団委員長において開催いたしました。セミナーの開催担当は、ロータリーコーディネーター、ロータリー公共イメージコーディネーター、ロータリー財団地域コーディネーターが順番に担当しますが、今年は私たちロータリー財団地域コーディネーター（RRFC）と同補佐（ARRFC）の担当でした。内容は、RIの方針に従い「ローターアクトクラブの強化」「DEIの理解」、また佐藤芳郎 RI 理事が推進される「世界ポリオデー」や「Grow ROTARY」の話題、ロータリー財団からは「日本のロータリー財団の目標」「冠名基金の推進」「災害救援基金」について提案し、活発な意見交換が行われました。

今年は、RRFCとして三年目の年になります。ロータリアンの皆様にはロータリー財団に対する多くのご支援をいただき感謝申し上げます。今年は集大成として、まず1. 「年次基金寄付ゼロクラブゼロ」の達成、それから2. 「ポール・ハリス・ソサエティ（PHS）」会員を1地区に30名以上増強をお願いすること、3. 新しく決まった「ポリオプラス・ソサエティ」の参加を推進すること、4. 大口寄付の件数を各地区2名以上お願いすること、を目標として挙げさせていただきます。

第3地域の11の地区では5月末の昨年同月比では3地区が年次基金の寄付額が前年を上回りました。長引くコロナ禍でご無理は申し上げられませんが、ロータリー財団へのご寄付は世界で良い変化をもたらすための原動力となっています。ぜひロータリー財団の主旨をご理解の上、温かいご支援をお願いいたします。

Rotary
Region 1, 2 & 3



コーディネーター
NEWS

2023年9月号 No. 1

発行: Region 1, 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター
ロータリー財団地域コーディネーター



第1地域

ロータリーコーディネーター補佐

今井高志

(弘前RC)

第一地域ロータリーコーディネーター補佐（ARC）の今井高志（弘前RC）です。橋岡久太郎RCを補佐する立場で、担当地区は第2830地区青森、第2540地区秋田、第2800地区山形、第2560地区新潟となっています。

昨年度を振り返ると、GETS や地域リーダー会議等の会議には出席したものの、他地区に出向いての支援活動は出来ませんでした。唯一、第2540地区の淡路ガバナー（当時はDGE）から、地区研修協議会で話をして欲しいと要請がありましたが、日程が合わず、橋岡RCにお願いしてしまいました。

RC（含むARC）の大事なミッションとして「会員増強」がありますが、我が第2830地区を例に検証してみたいと思います。

第2830地区の会員数は、本年7月1日現在で1103名です。2011年の東日本大震災の頃から1200名を切り、当時のガバナーが「ミラクル1200」というスローガンを掲げ、その後も1200名まで戻そうと必死に取り組んできました。

私がガバナー（2018-19年度）の時も会員増強について「各クラブ1名以上増強、とくに40歳未満の若者と女性」を掲げ、「会員が増えればクラブが活性化し、資金も増え、さらなる奉仕活動ができ公共イメージが上がる、公共イメージが上がれば、一緒に奉仕活動をやりたい会員が増えるはず」と言ってきました。

1100名を切ると他地区と合併させられるかもという危機感から一時1200名を超えた年度もありましたが、結局、毎年70～80名の新会員が入っても、同じかそれ以上の退会者が出て、ここ数年は1100名前後となっています。

いろいろ取り組んできて結果が伴わないのは、取組方法が間違っているのかと思ったりするが、恐らく「質と量の掛け算の面積」が足りないのだろうと思う。つまり、「入会勧誘の声かけをする」という方法は間違っていないが、単に「ロータリーに入って」だけでは入会してくれない。「ロータリーに入れば、どんな良いことがあるのかを、実体験をもとに話をする」という質を上げて、しかも「たくさんの方に声を掛ける」という量も増やし、面積を拡げる必要があります。

ただ、私も含めかなりの方が、会員増強＝新入会員とっていました。もちろん、新入会員を増やすことは大事ですが、同時に退会者を減らすことを考えないと、会員減少という現状を打破できません。入会して程なく、「入会して良かった」と思ってもらえるクラブにしていかなければならないと思います。

そのためには、クラブにDEIを取り入れなければなりません。多様な方を受け入れて、みんなを公平に扱ってくれて、何より一人ひとりの居場所があるクラブ、そして本心からお勧めできるクラブになれば、新入会員は増え、退会者は少なくなると思います。ぜひ、そんなクラブ作りを目指していきたいです。

Rotary
Region 1, 2 & 3



コーディネーター
NEWS

2023年9月号 No. 2

発行: Region 1, 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター
ロータリー財団地域コーディネーター



3地域合同 「公共イメージ向上オンラインセミナー」報告

第1地域

ロータリー公共イメージコーディネーター 寺嶋哲生

(柏RC)

2023年7月23日 Zoomにて3地域合同による「公共イメージ向上セミナー」が開催されました。各地区ガバナーや公共イメージ向上委員長始め、地域コーディネーターと同補佐、日本事務局を含む総勢約150名の参加を頂きました。

冒頭、佐藤芳郎 RI 理事から「日本のロータリー会員数は、下げ止まった感がある。ポリオ根絶・クリエイティブに因んだ行事を行って地区とクラブ活性化の一助とし、ロータリーを育てよう」と、呼びかけられました。

次いで、R1 田中久夫 ARPIC から「公共イメージを向上させる目的と期待される効果」・R3 簡仁一 ARPIC から「ロータリーブランドとロゴの重要性」と題し、示唆に富む講話を頂きました。

更に「クラブ活性化につなげるために」と題し、R2 桑澤一郎 ARPIC から「日本のロータリーとしてのポータルサイトの設置と登録依頼」について、R3 深尾兼好 ARPIC から「世界ポリオデーフォトコンテスト」についての説明を頂きました。

続いて「世界ポリオデーに向けての計画発表」として、2590地区大塚正一公共イメージ委員長から「第2回世界ポリオデー JR 桜木町駅前広場」・2660地区貴島陵太郎実行委員長から「END POLIO NOW チャリティーハロウィンパーティー」・2680地区田中正喜公共イメージ委員長から「ポリオデー IN 神戸まつり」・九州4地区を代表し田村香代子公共イメージ部門長から「九州4地区合同 CREATE HOPE プロジェクト・いっしょにやろう」についての紹介を頂きました。

質疑応答の時間では、2760地区伊藤靖祐 RRFIC から各地区における事業予算の調達についての問いかけがあり、夫々の地区からは様々な工夫と苦勞についての率直な回答がありました。

セミナーの最後に三木明 R財団管理委員会委員から講評を賜り、充実したセミナーを実施した主催者に対する謝辞と共に、ローターアクターである2660地区貴島陵太郎実行委員長に対し、今後の更なる活躍を期待する旨の激励がありました。

結びに、R3 丸尾研一 RPIC から「ポリオ根絶に決意を新たにした」との言葉を頂きました。

参加者からは、公共イメージの向上の必要性に対する理解が進み、ポリオデーの企画立案に関する有益なヒントを得られたなどの感想が寄せられ、充実したセミナーを実施できたものと思われま

Rotary
Region 1, 2 & 3



コーディネーター
NEWS

2023年9月号 No. 3

発行: Region 1, 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター
ロータリー財団地域コーディネーター



ポリオ根絶と10月24日世界ポリオデーについて

第1地域

ロータリー財団地域コーディネーター補佐

梶原 等

(千葉RC)

ロータリーと共にポリオをなくそう。野生型ポリオウイルスにより感染してしまう恐れのある子供たちを一日も早く救い出そうとして1980年代に世界的な奉仕プロジェクトとしてロータリーが世界に先駆け取り組みを開始、以来現在でも、第一優先項目にあげられているのがポリオ根絶活動です。

そして日本のロータリーとしては2年ほど前からエンドポリオの活動とロータリーに対する理解を高めるべく10月24日の世界ポリオデーに国内を上げてのエンドポリオの周知・募金（寄付）、そしてロータリーの活動を広報するイベントを一斉に開催しましょうという動きが全国各地で開催されるようになりその波は徐々に拡大し昨年はフォトコンテストを取り入れるなどの工夫もなされ各地区のロータリー活動に浸透してきました。

そこでエンドポリオイベントを開催するにあたりいくつかの注意点を確認しましょう。現代の日本人にはポリオと言ってもピンとこないのが現状です。まずはロータリアンである私達がポリオを正しく理解しその上でエンドポリオの必要性をPRする事です。

又、寄付は理解者からの支援であり、一般市民から頂く寄付に関しては理解を得られる方からのご奉仕であり強制的にならない様に十分気を付ける事が大切です。更に一般市民の方々には寄付をお願いするよりも世界の中には現在もポリオで犠牲になっている子供たちが沢山いる事を知ってもらう事です。ロータリーが何故エンドポリオ活動を行っているかという事を理解して頂きエンドポリオが世界中で大切な活動である事をPRしていく事です。

広報活動の方法は色々な事が考えられます。市民の方々にポリオを正しく理解して頂ければ寄付もロータリー活動も十分な理解が得られます。活動や広報の方法として地区全体で行うイベントと同時に各グループ（分区・ブロック）ごとにガバナー補佐を中心に同日、出来るだけ同じ時間帯、地区内各所でエンドポリオイベントを開催する事が効果的です。これは各グループやクラブが地区の要請やお膳立てだけでなく主体的に且つエリアを絞ることにより地元地域の社会にエンドポリオとロータリーをPRする絶好の機会になります。地区主導イベントでは地区委員会がテリトリー内のメジャーな場所で開催し、各グループやクラブは各々のエリアで個々に開催。出来たらオンライン配信を活用し各地を中継で結ぶなどの工夫をするとより一体感が生まれるでしょう。各地区ガバナーを中心に各ガバナー補佐のリーダーシップの下、地区全体が動き出すようなインパクトのあるポリオデーを開催してみませんか。10月24日の世界ポリオデーに向けて地区、グループ（分区・ブロック）各クラブでロータリーのPR、そしてエンドポリオ活動を推進していきましょう。今年度もフォトコンテストを実施します。各地区エンドポリオの活動報告を楽しみにしております。


国際ロータリー第2500地区 **新入会員の紹介**

第2分區 **士別ロータリークラブ**

かわひがし ひさとし
川東 久聖

■飲食店
■1973年7月6日生 ■7月3日入会

趣味はアウトドアで最近ゴルフなども始めました。30年ぶりに士別に戻り、地区の活性化に向けて取り組みます。よろしくお願いします。




第2分區 **士別ロータリークラブ**

いくた しんじ
生田 真至

■金融業
■1968年10月13日生 ■7月3日入会

趣味は野球観戦です。一生懸命頑張りますのでよろしくお願いします。




第2分區 **士別ロータリークラブ**

すずき はるき
鈴木 春樹

■建築
■1984年11月14日生 ■7月24日入会

父と交代で入会させていただきます。まだまだ若輩者ですが、ご指導ご鞭撻の程、よろしくお願いします。




第3分區 **旭川南ロータリークラブ**

ほりごめ やすひる
堀籠 康弘

■不動産販売
■1971年8月23日生 ■7月3日入会

何もわかりませんが、皆様のご指導宜しくお願い致します。




第4分區 **遠軽ロータリークラブ**

さとう よしお
佐藤 好生

■設備工事
■1968年2月3日生 ■7月6日入会

これといって趣味らしいことは持っていませんが、唯一休日にはバイクに乗り徘徊することぐらいが趣味です。そんな私ですが、なにかお役に立てればと思いい入会させていただきました。よろしくお願いします。




第4分區 **遠軽ロータリークラブ**

ともなが けんいち
朝長 賢一

■住設資材販売
■1969年6月1日生 ■7月6日入会

人との縁を大切に、家族に感謝の気持ちをもって活動していきます。宜しくお願い致します。




第5分區 **北見東ロータリークラブ**

さとう くにひろ
佐藤 邦弘

■電気事業
■1967年3月25日生 ■7月28日入会

初めての北見勤務です。ロータリーを通じて地域貢献できるよう頑張ります。よろしくお願いします。




第5分區 **北見東ロータリークラブ**

つじ てっぺい
辻 徹平

■環境衛生
■1979年3月20日生 ■7月21日入会

珈琲とワインが好物です。昼も夜もお誘いください。




第5分區 **美幌ロータリークラブ**

ちば こうじ
千葉 孝次

■食品小売
■1949年3月5日生 ■7月1日入会

諸先輩方のご指導ご鞭撻のもと、クラブと地域に貢献できるよう努めてまいります。




第6分區 **帯広ロータリークラブ**

かとう たかこ
加藤 貴子

■家具販売業
■1980年5月6日生 ■7月26日入会

交流を深めて、見識を広げるために、入会を希望しました。趣味は小さい子供に楽しんでもらうことです。



第6分區 **帯広ロータリークラブ**

ごとう よしこ
後藤 芳子

■ビルメンテナンス
■1975年5月3日生 ■7月12日入会




第6分區 **帯広ロータリークラブ**

なかの まさひろ
中野 正宏

■電気通信業
■1972年7月28日生 ■8月2日入会


ゴルフ、サッカー、競馬が趣味です。帯広は全くの初めてとなりますので、皆さま、ぜひ仲良くして下さい。



第8分區 中標津ロータリークラブ

さい かい たか ふみ
西海 貴史

■生命保険業
 ■1985年10月6日生 ■7月1日入会



今年から家族で中標津に引っ越ししてきました。よろしくお祈りします。

第8分區 中標津ロータリークラブ

にし やま り か
西山 里架

■飲食業
 ■1971年1月31日生 ■8月1日入会



初めましての皆様もいらっしゃいますが、たくさんの方々とのつながりを大切になんとなくお付き合いして頂ければと思います。

ロータリー財団寄付者報告

第3分區 北海道2500ロータリーEクラブ

よし もと ま すみ
吉本 真澄

寄付月日 2023年7月19日
 寄付種類 PHF+1

第3分區 北海道2500ロータリーEクラブ

たか はし ひる あき
高橋 広昭

寄付月日 2023年7月15日
 寄付種類 AF-SHARE

第6分區 足寄ロータリークラブ

わし おか こうしょう
鷺岡 康照

寄付月日 2023年7月11日
 寄付種類 年次基金

第6分區 帯広北ロータリークラブ

あら き たつる
荒木 樹

寄付月日 2023年7月10日
 寄付種類 ベネファクター

米山功労者報告

第7分區 釧路ロータリークラブ

そ よん じん
邵 龍珍

寄付月日 2023年6月29日
 米山功労者 4回



例会出席率及び会員数推移

2023年7月末報告

分 区	クラブ名	例 会 数	出 席 率 (%)	会 員 数					
				前月	当月	増減	女性 会員	入会	退会
1	礼 文	2	64	14	14	0	0	0	0
	利 尻	3	95	19	19	0	0	0	0
	利 尻 島	3	68	17	17	0	1	0	0
	天 塩	2	62.5	12	12	0	2	0	0
	豊 富	4	100	18	20	2	1	2	0
	稚 内	3	64.3	44	44	0	2	0	0
	稚 内 南	3	77.6	37	37	0	1	0	0
	計		75.9	161	163	2	7	2	0
2	美 深	3	85.1	23	27	4	1	4	0
	枝 幸	4	65	25	25	0	0	0	0
	名 寄	4	72.2	54	54	0	2	0	0
	中 頓 別	4	93.8	12	12	0	0	0	0
	士 別	4	81.25	42	44	2	1	3	1
計		79.5	156	162	6	4	7	1	
3	旭 川	4	71.62	64	64	0	3	1	1
	旭 川 東	4	-	29	28	1	0	0	1
	旭 川 北	3	77.78	43	45	2	0	2	0
	旭 川 南	4	-	24	25	1	0	1	0
	旭 川 西	3	82.6	43	44	1	5	1	0
	旭 川 東 北	3	-	15	15	0	1	0	0
	旭川モーニング	3	-	21	21	0	2	0	0
	旭 川 空 港	4	75	15	16	1	3	1	0
	美 瑛	4	53.3	30	30	0	0	0	0
	富 良 野	3	74.3	48	48	0	3	0	0
	上 川	3	80	10	10	0	0	0	0
	2500REクラブ	4	94	19	19	0	3	0	0
計		76.1	361	365	6	20	6	2	
4	遠 軽	4	76.8	40	42	2	2	2	0
	紋 別	3	56.32	31	31	0	0	1	1
	紋 別 港	4	77.42	27	27	0	0	0	0
	興 部	4	80	15	15	0	0	0	0
	雄 武	4	77.6	13	13	0	0	0	0
	滝 上	3	78.6	14	14	0	1	0	0
計		74.5	140	142	2	3	3	1	

分 区	クラブ名	例 会 数	出 席 率 (%)	会 員 数					
				前月	当月	増減	女性 会員	入会	退会
5	網 走	4	79.38	55	57	2	8	2	0
	網 走 西	3	63	48	48	0	0	0	0
	美 幌	4	85	52	53	1	6	1	0
	北 見	4	77.92	53	60	7	6	7	0
	北 見 東	4	74.1	36	40	4	2	4	0
	北 見 西	4	80.8	61	63	2	2	2	0
	清 里	3	70	29	30	1	0	1	0
	留 辺 藪	3	80.01	23	22	1	1	0	1
	斜 里	4	65.7	28	29	1	3	1	0
	計		75.1	385	402	19	28	18	1
6	足 寄	4	62.87	29	29	0	1	0	0
	広 尾	2	50	20	20	0	0	0	0
	上 士 幌	3	69	14	14	0	0	0	0
	芽 室	2	79.6	22	22	0	1	0	0
	帯 広	4	59.22	88	89	1	7	2	1
	帯 広 東	4	79.38	39	40	1	2	1	0
	帯 広 北	4	59.84	62	62	0	3	2	1
	帯 広 南	4	66	67	66	1	7	0	1
	帯 広 西	4	75.4	86	86	1	5	1	0
	音 更	3	72.3	41	41	0	5	0	0
清 水	3	58.39	18	18	0	2	0	0	
計		66.5	486	487	4	33	6	3	
7	釧 路	4	62.4	97	98	1	0	1	0
	釧 路 東	4	75	33	33	0	0	0	0
	釧 路 北	4	95	103	105	2	12	2	0
	釧 路 南	3	86	27	27	0	4	0	0
	釧 路 西	2	78	28	28	0	1	0	0
	釧 路 ベイ	3	92	19	21	2	3	2	0
	音 別	4	81	16	16	0	0	0	0
	白 糠	4	75	10	10	0	1	0	0
計		80.6	333	338	5	21	5	0	
8	厚 岸	4	80.8	13	13	0	0	0	0
	別 海	3	56.7	10	10	0	0	0	0
	浜 中	4	70	11	11	0	1	0	0
	中 標 津	3	43.7	38	35	3	2	1	4
	根 室	3	64.6	33	33	0	0	0	0
	根 室 西	4	71.3	49	49	0	1	1	1
	弟 子 屈	3	73.9	16	17	1	2	1	0
計		65.9	170	168	4	6	3	5	
総 計		74.2	2,192	2,227	48	122	50	13	

第2500地区 全65クラブ	前月末会員数	当月末会員数	増 減	平均出席率
	2,192人	2,227人	35人	74.2%
女性会員数	119人	122人	3人	

地区大会

2023—2024年度
国際ロータリー第2500地区



世界に希望を生み出そう

今こそ変わる勇気を！
さあ、一步前へ。



記念講演

兼間 祐二氏

北海道銀行 代表取締役頭取
(株)ほくほくフィナンシャルグループ
代表取締役副社長

2023.10/8 SUN

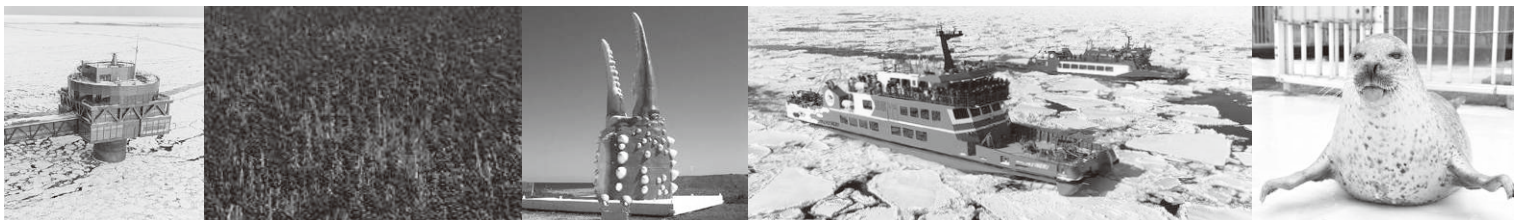
会場

紋別市民会館

紋別市潮見町1丁目4番3号

10/7 SAT >> 記念ゴルフ大会
紋別カントリークラブ

オホーツクの食と自然を楽しめる紋別へ！



Rotary
第2500地区



2023-2024年度 国際ロータリー第2500地区ガバナー / 鶴見 誠一郎 ホストクラブ / 紋別港ロータリークラブ
ガバナー事務所 / 〒094-0007 北海道紋別市落石町4丁目19-5 TEL 0158-28-8280 FAX 0158-28-8281



オホーツク流氷公園 竪穴式コンビネーション遊具



2023-2024年度
国際ロータリー第2500地区

ガバナー事務所

〒094-0007 北海道紋別市落石町4丁目19-5

TEL / 0158-28-8280 FAX / 0158-28-8281

Mail / 2023-2024_governor-office@rid2500.jp

公式WEBサイト / <https://2023-2024.rid2500.jp/>

公式facebook / <https://facebook.com/rid2500/>

下記QRコードから
アクセスできます



WEBサイト



facebook